

小川としうき 智之 千葉市から千葉県を元気に!! 県議会リポート

発行／自由民主党千葉県議会議員会
260-0855 千葉市中央区市場町2番13 電話 043(227)7411

課題解決へ千葉市と連携

9月県議会・一般質問

●都川水系の浸水対策

小川議員 千葉市は政会
指定都市とはいえ、県市で連携し協議しなければならない事業が沢山ある。その一つが都川の流域治

千葉市と千葉県の連携に情熱を注ぐ小川としゆき議員は、9月県議会一般質問に登壇。まず都川の流域治水上水道の統合・広域連携について当局の考え方や進捗状況をただしました。続いて、文化・歴史を活かした郷土愛の醸成、中小企業の振興、人口減少社会対策等について質問。今号では、その質疑と答弁の概要をお伝えします

9月県議会一般質問に登壇した
小川としゆき議員

千葉県を知る県民増やせ

文化・歴史活かし郷土愛を醸成

●文化や歴史を活かした

小川議員 私は、地域活性化の原動力は、郷土愛だと思っている。しかし、県民性の特徴として、一般的に郷土愛が薄い、と言われているが、その要因として「千葉県民が千葉県を知らない」ことが挙げられる。先般、県立中央博物館で開催の特別展「万祝博覧会—

海をまとう」開会式に出席し、常設展も観覧したが、常設展は勿体ない感じがした。

中央博物館は、本年3月に「みらい計画」を策定し、リニューアルに向け取り組んでいるが、これを契機に、千葉県の持つ多様な歴史や文化を活用して、県民のふるさと意識の醸成に取り組んでいくべきと考えるがどうか。

スポーツ・文化局長 千葉
固有の歴史や文化、自然を活用して、県民の誇りを高めふるさと意識の醸成を図ることは重要なことです。このため、加曾利貝塚や佐原の山車行事など、多様で豊かなちば文化の魅力を特徴づける「ちば文化資産」を県民参加で選定して情報発信し、千葉県誕生150周年

な機会に活用されるよう努めてまいります。また、博物館や美術館では海や房総の自然をテーマとした企画展や観察会等を行つており、今後も、県民の皆様が地域の魅力を再認識し郷土への愛着が高まるとう取り組んでまいります。

小川議員 文化財でも
せつかく平成20年度に「ちば文化遺産100選」が選定されたが、その後観光資源やふるさと意識醸成に寄与していると言い難い。
県教育委員会(県教委)は、文化財の活用について、「どのように取り組んでいくか」を教育長 県教委では、今

遺産に認定された「北総四都市江戸紀行」では、四都市を紹介するマンガを制作したほか、日帰りツアーや特別列車の運行等を通じて文化財の活用を進めました。

今後とも、県民の宝である文化財の魅力を発信するとともに、観光や地域振興への活用に積極的に取り組ん

まいります。

て統合、または統合の検討が進んでいることから、11市を一気に統合するのではなく、まずは一步ずつ進めてもらいたい。

また、ある程度、期限を切って行わないと結論がズズル先延ばしになってしまふので、ぜひ具体的なスケジュール感を持つて協議を進めて欲しい。

まず都川の流域治水

害が心配される。そこで伺う
都川上流域において県上
市がしつかり連携し浸水対
策を進めるべきと思うが
どうか。

たが、今年度に入り、大草原の上流右岸における堤防、さ上げや、河川監視カメラ設置を行つたところです。

県土整備部長 都川につ
いては、流域の浸水被害の軽
減を図るため、県と千葉市が
一体となって流域治水を推進
する都川水系流域治水プロ
ジェクトを策定しています。

都川上流域では、このプロ
ジェクトに基づき、堆積土砂
や洪水の流下を阻害する支
障物の撤去を進めてきまし

匪から水が集まりやすいと
め、市の道路事業と連携し
て浸水対策を行うことが重
要であると認識しており、今
後も継続して必要な対策を
実現してまいります。

地元が提案する
草交差点付近の水害
対策を実現するためには、
県市で課題を整理しなが

たたかず川上流域の対応だけに偏ると、下流域側への負担が増すこともあります。ことから、都川水の里公園の調整機能を発揮できるよう、早期整備を要望するともに、県市間の連携がシカト必不可少なので、こちらで頂きたく。

令和7年1月20日(月曜日)

●物流機能の強化
小川議員 本県は、農産物も畜産物も海産物も何でも美味しい食材が獲れる。しかし、カツオは勝浦港や銚子港の漁獲高が上位にあるにも関わらず、カツオと言えば高知のイメージが定着している。このようにイメージを定着させるには、食べ方もセットで考えることだと思う。

新しいメッセージを定着させ
るため、食べ方と併せたプロモーションが効果的だと考
えるがどうか。
農林水産部長 県産農林水産物の魅力を消費者に伝
えて、効果的なプロモーションを実施のほか、県産サツマイモの新しく定着を図り、スイーツ販
売店、食品会社等と連携して、効果的なプロモーションに取り組んでまいります。

要望 口モーションには、新しい食べ方などの提案も含めて消費者が抱くイメージ品質である「知覚品質」を高めるよう取り組んでいたい。県では、年4回の千葉県フェアにおいて、食材とともに調理方法を紹介する取組

県産品のプロモーション 食べ方も一緒に

中小企業の声 反映せよ

現状踏まえた効果的支援求む



自席から再質問する小川議員

●企業の声の反映

小川議員 県は、平成19年度に「千葉県中小企業の振興に関する条例」を制定し、施策を総合的に推進している。私も零細企業の経営者として地域振興活動等に努めてきたが、そこで耳にするのは「既存の中小企業の現状を踏まえた効果的な支援」だ。

県では、中小企業の振興について、企業の声をどのように反映させているのか。

商工労働部長 県では、会議が4月に発表した「消滅可能性自治体」に千葉県

関係人口の創出が先

●社会増や関係人口の創出

小川議員 国の人口戦略会議が4月に発表した「消滅可能性自治体」に千葉県

内54市町村の約4割、22市町村が分類され、6月議会では質問が相次いだ。

答弁では、自然増への取り組みが多く、社会増や地域と多様に関わる人々を指す関係人口の創出といった答弁が少なかったと思える。

県は、人口の社会増や関係人口の創出に向け、どのように取り組んでいるのか。

要望 人口減少社会に対

しては、日本全体で自然増に繋がる施策を展開しなければならないが、社会全体が活力を持たないと、自然増に繋がらないと

思ふ。そのためには、都市間競争は極めて大切であ

り、地域の持つ資産を活か

しながら、マーケティング

手法を取り入れ、社会増や

関係人口の創出に繋がる施

策の展開を続けて欲しいと

思ふ。

●人材確保への支援

小川議員 中小企業の人材確保に向け、企業に対し

て、県はどのような支援を

しているのか。

商工労働部長 中小企業

が必要な人材を確保するた

めには、自社の魅力を知つて

もらい、働き続けたいと思え

る職場環境をつくることが

重要と考えております。この

ため県では、自社のPR方

が個々の企業の相談に応

じて課題を整理し、必要と

具体的には、専門のスタッ

フが個々の企業の相談に応

じて課題を整理し、必要と

思ふ。

うたいます。
こうした機会にいただいた意見は、中小企業のデジタル化の推進に向けたブッシュ型の伴走支援や、人材確保に向けた仕事体験ツアーなど、様々な新規施策に反映をさせているところです。

●補助制度の利用拡大
小川議員 先般の中小企業同友会のアンケートでは、県の補助金・助成金があり活用されていない一方、一部の補助金に集中しているという結果が出た。そこで補助制度を利用してもらおう工夫をしております。

また、①ホームページ等での情報発信、②わかりやすい資料の配布、③関係団体を通じた呼び掛けー等により周知を図るとともに、経営者度設計を行い、申請時の負担軽減や要件の簡素化など、使いやすい制度となるよう、工夫をしております。

補助制度を利用するため、県では、市町村が地域の実情にあわせて実施するAIデマンド交通や自動運転、グリーン・スローモビリティの

●デジタル活用への支援
小川議員 公共交通におけるデジタル技術の活用について、どのような支援を行っているのか。

総合企画部長 県では、市町

ドバイス等を行うとともに、ア

合同企業説明会や職場見学

会等の実施により、多様な人材との交流機会の提供に取り組んでおります。

また、魅力的で働きやす

い職場環境づくりが進むよう、企業に専門家を派遣し、ツショナル人材をマッチングし、企業に定着するまでの伴走支援を行っています。

さらに、今年度は新たに、デジタル人材を採用する場合に、人材紹介事業者に支払う手数料への補助制度を新設したところです。

県としては、持続可能な公共交通の実現に向けて、引き続き、デジタル技術を活用した地域の新たな取組を支援してまいります。

●千葉市と千葉県政に関するご要望をお寄せください。

小川としゆき 県議事務所
〒264-0017 千葉市若葉区加曽利町1032-81
TEL. 043-232-1435

ホームページもご覧ください▶ <https://www.ogatoshi.com>